

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ネマキック粒剤
製品コード	AK3003J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂シヤスタース7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺線虫剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激	区分外
	皮膚感作性	区分1B
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系) 区分2(全身性、神経系)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
	環境に対する有害性	水生環境急性有害性

※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語

#### 危険有害性情報

危険  
 飲み込むと有害のおそれ  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 発がんのおそれ  
 呼吸器系の障害  
 全身性または神経系の障害のおそれ  
 長期にわたる、または、反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害  
 水生生物に有害

#### 注意書き

【安全対策】  
 保護手袋を着用すること。  
 粉じんの吸入を避けること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 必要なとき以外は環境への放出は避けること。  
**【応急措置】**  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 暴露した場合、医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
**【保管】**  
 施錠して保管すること。  
**【廃棄】**  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
<b>【有効成分】</b>	
化学名又は一般名	(RS)-{O-エチル S-プロピル (E)-[2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート} (一般名 イミシアホス)
分子式(分子量)	C11H21N4O2PS (304.35)
CAS番号:	140163-89-9
官報公示整理番号	化審法: —
(化審法・安衛法)	安衛法: 8-(2)-2173
濃度又は濃度範囲	1.5%
<b>【その他成分1】</b>	
化学名又は一般名	シリカ(結晶質)
CAS番号:	14808-60-7
官報公示整理番号	化審法: (1)-548
(化審法・安衛法)	安衛法: 第57条の2(通知対象物質)
濃度又は濃度範囲	94%未満
<b>【その他成分2】</b>	
化学名又は一般名	鉍物質等
濃度又は濃度範囲	残分

### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

医療関係者への情報

本剤は有機リン系殺虫剤である。  
 中毒に対しては、硫酸アトロピン及びPAMの投与が有効であると報告されている。

5. 火災時の措置

<p>消火剤                  使ってはならない消火剤                  特有の危険有害性</p> <p>特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類                  棒状放水                  火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。                  消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p> <p>消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p>
---	--

6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、保護具                  および緊急措置</p> <p>環境に対する注意事項                  回収・中和</p> <p>封じ込め及び浄化方法・機材                  二次災害の防止策</p>	<p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。                  関係者以外の立入りを禁止する。                  作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。                  立ち入る前に、密閉された場所を換気する。                  環境中に放出してはならない。                  不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。                  危険でなければ漏れを止める。                  すべての発火源を速やかに取除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)                  排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>
--	--

7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い 技術的対策</p> <p>局所排気・全体換気</p> <p>安全取扱い注意事項</p> <p>保管 技術的対策</p> <p>保管条件</p> <p>容器包装材料</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。                  取扱い後はよく手を洗うこと。                  飲み込みを避けること。                  粉塵の吸入を避けること。                  眼との接触を避けること。                  汚染された作業衣は作業場から出さないこと。                  保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。                  直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。                  施錠して保管すること。                  データなし</p>
--	---

8. ばく露防止及び保護措置

<p>管理濃度</p> <p>許容濃度                  (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)</p> <p>設備対策</p> <p>保護具 呼吸器の保護具</p>	<p>未設定</p> <p>未設定</p> <p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。                  空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。                  特別な換気要求事項はない。                  適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。</p>
--	---

<p>手の保護具                  眼の保護具                  皮膚及び身体の保護具</p> <p>衛生対策</p>	<p>適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。                  適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。                  適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。                  この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。                  取扱い後はよく手を洗うこと。                  汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>
---	--

**9. 物理的及び化学的性質**

<p>物理的状态</p> <p>形状                  色                  臭い                  pH</p> <p>比重(密度)</p> <p>オクタノール・水分配係数</p> <p>引火点</p>	<p>細粒                  類白色                  僅かな特異臭                  4.3                  1.1 (見かけ比重)                  log Pow=1.64(原体)                  不燃性 (有効成分の引火点は184℃)</p>
--	---

**10. 安定性及び反応性**

<p>安定性                  危険有害反応可能性                  避けるべき条件                  混触危険物質                  危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の条件下では安定。                  通常の条件下では安定。                  データなし                  データなし                  加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。</p>
--	---

**11. 有害性情報**

<p>急性毒性 経口                  経皮                  皮膚腐食性・刺激性</p> <p>眼に対する重篤な損傷・刺激性</p> <p>呼吸器感作性又は皮膚感作性</p> <p>生殖細胞変異原性                  発がん性</p> <p>特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)</p> <p>特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)</p>	<p>ラット経口LD50 &gt;2000 mg/kgに基づき、区分5とした。                  ラット経皮LD50 &gt;2000 mg/kgに基づき、区分外とした。                  ウサギにおいて皮膚刺激性がみられなかったことから、区分外とした。                  ウサギにおいて軽微な刺激性であったことから、区分外とした。                  皮膚感作性: モルモットにおいて皮膚感作性がみられたことから、区分1Bとした。                  変異原性のある成分を含まないため、区分外とした。                  区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の0.1%以上含有することから区分1Aとした。                  区分1に分類されるイミシアホスをカットオフ値の1%以上含有することから区分2とした。                  区分1に分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから、区分1とした。                  区分1に分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから、区分1とした。</p>
--	--

**12. 環境影響情報**

<p>水生環境急性有害性</p>	<p>甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50値29mg/Lから、区分3とした。</p>
------------------	--

**13. 廃棄上の注意**

<p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。                  容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。                  空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
------------------------------	---

**14. 輸送上の注意**

<p>国際規制</p>	<p>該当しない</p>
-------------	--------------

**国内規制** 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

**特別安全対策** 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

**化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)** 該当しない

**労働安全衛生法** 8-(2)-2173(イミシアホス)  
第57条の2(通知対象物質): シリカ(政令番号:312)

**農薬取締法** 第22554号

**16. その他の情報**

**財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。